

CDI 講演会

Creative Department for Innovation

■ 日時 平成26年 **11月11日(火)** 14:30~16:50

■ 場所 **アカデミアホール**(宇都宮大学工学部) 宇都宮市陽東7丁目1番2号

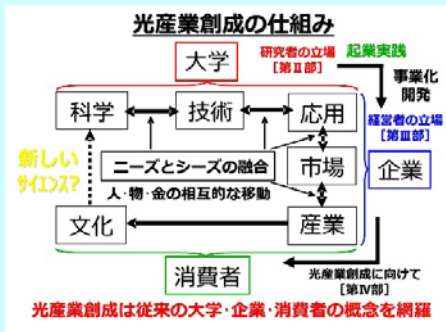
講演Ⅰ 起業実践を通じた光産業創成

(14:35~15:35)

— ホロライトの事業化開発とその展望 —

講師 **池田 貴裕 氏**

パイフオニクス株式会社 代表取締役



パイフオニクス(株)は2006年に光産業創成大学院大学内で起業した浜松ホトニクス発のベンチャー企業である。起業1年後に高指向性LED照明装置「ホロライト」を開発、現在の主力製品となる。ホロライトの応用先として、検査、演出、建築、道路、安全、芸術、観光、通信、実験用など様々な業界分野で実用化され始めている。本発表では、光産業創成大学院大学における研究内容、起業家精神の獲得方法、研究者から経営者に立場を変える意義、ホロライトの事業化開発とその応用事例、次世代型ホロライトの将来展望、将来の夢について紹介する。

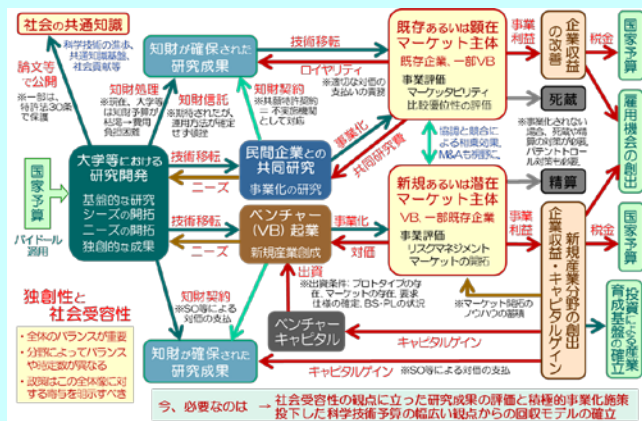
講演Ⅱ 新しい時代の研究者像

(15:45~16:45)

— オープンイノベーション、グローバル化、産学連携をどのように研究に活かせばよいのか? —

講師 **石川 正俊 氏**

東京大学 情報理工学系研究科 創造情報学専攻 教授



科学技術の基本構造の変化に伴い、大学における研究の位置づけや戦略も大きく変化している。従来型の要素還元主義・改良型研究の研究から脱却し、仮説演繹法に基づく価値創造型の研究へのシフトが求められるとともに、オープンイノベーション、グローバル化、産学連携といった新しい波が押し寄せてきている。一方で、多くの研究成果は、たとえ論文になっても事業化されない場合がほとんどで、価値の創造には至っていない。

本講演では、これらの現状について、基本的な考え方をその背景とともに様々な観点から分析し、現状の課題を述べるとともに、求められる新しい時代の研究者像並びに組織像を示し、技術移転やベンチャー起業等、自らの研究の価値を上げるためには、何をすればよいかについて論説する。

主催 宇都宮大学 地域共生研究開発センター CDI部門
 共催 宇都宮大学工学研究科, オプティクス教育研究センター
 後援 とちぎ光産業振興協議会
 連絡先 CDI事務室 TEL&FAX 028-689-7006